

# Brasil

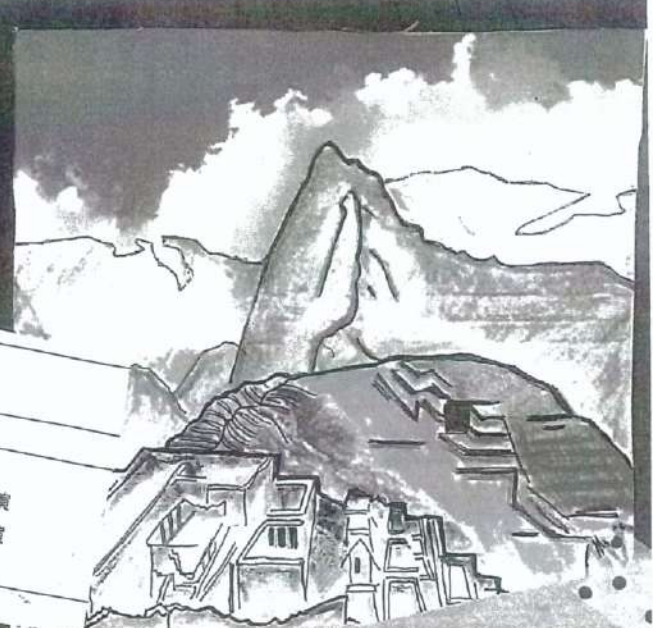
## 上智大学 外国語劇祭 2011



Grupo de Teatro Brasil

上智大学ポルトガル語劇団		Grupo de Teatro Brasil	
	DATE	TIME	
リハーサル公演	10月28日 FRI	18:30 開場	18:45 開演
本公演	11月05日 SAT	12:30 開場	13:00 開演

10号館講堂  
→ 公演場所



上智大学イスパニア語劇団		EL gallinero	
	DATE	TIME	
リハーサル公演	11月04日 FRI	18:30 開場	18:45 開演
本公演	11月05日 SAT	14:30 開場	15:00 開演

### Países Hispánicos

# РОССИЯ



上智大学ロシア語劇団		ТЕАТРАЛ	
	DATE	TIME	
本公演	11月05日 FRI	17:00 開場	17:30 開演
	11月06日 SAT	16:00 開場	16:30 開演





## 2011 年度語劇祭開催によせて

外国語学部は、今年の秋もまた、恒例の外国語劇祭を行います。ロシア語学科、ポルトガル語学科、イスパニア語学科の学生たちが、2011 年春から、長い時間をかけて準備してきたものです。

学科の教員、演劇の専門家の助言を得ながら、どのように自分たちを表現すべきかを考えながらがんばってきました。秋の一日、その成果をぜひ、ご覧ください。

上智大学外国語学部長  
寺田勇文

### Palavras do Diretor

A Faculdade de Estudos Estrangeiros realizará o Festival de Teatro em Língua Estrangeira no outono deste ano também. Os estudantes dos Departamentos de Estudos Russos, Luso-brasileiros e Espanhóis vieram se preparando com afinco desde a primavera deste ano para sua realização.

Os estudantes se esforçaram sob a orientação dos professores dos respectivos Departamentos e profissionais de arte dramática, procurando a melhor forma para se expressarem em língua estrangeira. Gostaria que apreciassem o maravilhoso resultado desse trabalho !

Takefumi Terada  
Diretor da Faculdade de Estudos Estrangeiros  
Universidade Sofia

## Saludo

Estamos de nuevo en otoño y retorna el evento otoñal de nuestra Facultad: el Festival del Teatro en Lenguas Extranjeras.

Los estudiantes del Departamento de Estudios Rusos, de Estudios Luso-Brasileños y de Estudios Hispánicos han venido preparando sus obras desde la primavera del presente año. Con la ayuda de los profesores de sus respectivos Departamentos y con la colaboración de especialistas de teatro, han trabajado intensamente buscando la manera de expresarse a sí mismos a través de estas obras.

Aquí les presentamos el fruto de sus esfuerzos. Espero que lo disfruten.

Takefumi Terada  
Decano de la Facultad de Estudios Extranjeros  
Universidad Sofia

В преддверии открытия Театрального Фестиваля 2011 г.

Факультет Иностранных Языков этой осенью вновь проводит ставший уже традиционным Фестиваль театральных постановок на иностранных языках. Студенты отделений русского, португальского и испанского языков подготавливали свои выступления на протяжении длительного времени, начиная с весны 2011 г.

Наши студенты размышляли над тем, как им следует выразить себя, заручившись поддержкой преподавательского состава и профессиональных театральных постановщиков.

Обязательно приходите посмотреть на результаты их трудов!

Декан Факультета Иностранных Языков Университета Дзёти,

Тэрада Такэфуми

ゲネプロ公演

10月28日 18:45開演 (18:30開場)

ポルトガル語劇団

Memorias de uma casa～家の記憶～

菊池 駿  
Shun Kikuchi

11月4日 18:45開演 (18:30開場)

イスパニア語劇 El Gallinero

LAS CLAVES

Leslie Garrett  
レスリー・ガレット

本公演

11月5日

13:00開演 (12:30開場)

ポルトガル語劇団

Memorias de uma casa～家の記憶～

菊池 駿

15:00開演 (14:30開場)

イスパニア語劇 El Gallinero

LAS CLAVES

Leslie Garrett

17:30開演 (17:00開場)

ロシア語劇 Театрал

Любовь-愛-

Людмила Петрушевская  
リュドミーラ・ペトロシェーフスカヤ

Нос-鼻-

Нина Садур

ニーナ・サドウール

11月6日

15:30開演 (15:00開場)

ロシア語劇 Театрал

Любовь-愛-

Людмила Петрушевская

Нос-鼻-

Нина Садур

# ポルトガル語劇団 2011 年公演

## Memorial de Uma Casa 家の記憶

本公演 11月5日 12:30 開場/13:00 開演  
リハーサル公演 10月28日 18:30 開場/18:45 開演  
於 上智大学 10号館講堂

### 部長からのあいさつ

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。ポルトガル語劇団は今年新たに7名の部員が加わり、よりパワフルな劇団となってこの日を迎えました。昨年はチャレンジの年、そして今年は進化の年。2年目を迎える外国語劇祭で、私たちの進化した姿をお見せできるよう、メインキャストの1年生と共に最後まで精一杯「Memorial de uma casa」をお届けいたします。

2011年度 部長 平岡里枝子

### 物語の紹介

自分の将来のことで、父親と意見が衝突し思い悩んでいる青年ダニーロがたどりついたのはある一つの家。そこに突然家の妖精が現れ、その家にかつて住んでいたいろいろな家族の記憶を見せ始めます。

この家はいったい何なのでしょう、どうして妖精は家の記憶をダニーロに見せるのでしょうか…?

青年ダニーロの将来と父親とに対する葛藤と、彼の成長を描いたオリジナルの台本です。



## キャスト紹介



**Danilo** ダニーロ

山下恵理子 (1年)

自分の将来について思い悩む青年。父親に似てやや怒りっぽい。



**Espirito da Casa** 家守り

柴久保真実 (1年)

長年にわたって家を守ってきた妖精。誰かの面倒を見るのが好き。

### 若い夫婦—第1世代 1930年代



**Antônio** アントニオ

徳納 慈 (4年)

さわやかな青年。新婚生活とコーヒー農園に対して希望でいっぱい。



**Joana** ジョアナ

平岡里枝子 (2年)

乙女な新妻。前向きで、夫が大好き。

### 第2世代 1960年代



**Paulo** 父親 パウロ

樋口 潤 (2年)

仕事熱心。多くの父親がそうであるように、息子を大切に思っている。



**Teresa** 母親 テレザ

砂本恵子 (1年)

いつも自分のことよりも家族のことを考えている。前向きで元気。



**Luís** 息子 ルイース

小沢 泉 (1年)

両親と遊びが大好きだったが、成長するにつれ自分で自分の人生を歩んでいく。

第3世代 1980年代



**Cecilia** 母親 セシーリア

池上実花 (1年)

専業主婦。落ち着いていて面倒見がよい。夫が大好き。

現在



**Fabiano** 生徒1 ファビアーノ

菊池 駿 (2年)

子どもっぽいところがあるが、背伸びをすることもある。根は素直。



**Rafael** 生徒2 ハファエル

渡辺 学 (3年)

プライドが高い。世の中、努力なんて無駄だと考えている。



**Amália** 女子生徒3 アマリア

松永英華 (2年)

楽観的で、ポリシーは「なんとかなるさ。」成績不振。



**Gabriela** 女子生徒4 ガブリエラ

阿部静香 (3年)

生徒たちの中で一番まじめでしっかり者。カピバラを偏愛している。



**Prof. Braga** ブラガ先生

後藤 崇 (2年)

話し下手な先生。ポリシーは「現在よりも10年後の未来を考える。」



## スタッフ

言語指導	トイダ先生
舞台監督	松永英華
脚本	菊池 駿
指導・サポート	新田美羽、常葉結比
照明	後藤 崇、三科愛理（1年）、円城寺一平（3年）
音響	菊池 駿
字幕	平岡里枝子、松永英華
字幕補助	岩崎優介（4年）、徳納 慈
語劇祭ポスター制作	渡辺 学
ポルトガル語劇ポスター制作	徳納 慈
オープニング映像	円城寺 一平

## 脚本家より

この劇はブラジル特有の文学ジャンルである「クロニカ」を基調としています。日常の中のささやかな幸せや、儚い一瞬の上で揺れ動く感情を シンプルな文体で描写するのがその特徴です。登場人物はよく喋ります。自分の思いを伝えるために語ります。思いを伝えるのは辛いこともあるけれど、伝え、伝えられて人は次に進めるのかもしれない。やがて全ては記憶に溶け込み、振り返った時にそこには何が残るのでしょうか。何も残っていないでも何か残っていてもきっと寂しくなるでしょう。少しでも前向きに捉えられたら良いのですが。

脚本 菊池 駿

## 顧問より

今年の舞台はクロニカを題材にしては？—ある学生の提案でした。取るに足らない日常の断片を映し出すこの文学ジャンルは、その簡潔さゆえに、ともすれば単調な内容になる心配がありました。しかし始動してみると、そんな懸念は無用だったことがわかりました。発音の特訓、衣装や大道具・小道具の調達のハードスケジュールに頑張った成果をご覧ください。そして、学生たちの意気込みを感じていただけたらと、思います。

顧問 Helena Toida





イスパニア語劇 EL GALLINERO

# LAS CLAVES

Leslie Garrett

~adaptada por El Gallinero~

<演出家挨拶/ Mensaje de la directora>

本日はお越しいただき、誠にありがとうございます。

皆さまにお届けする作品は“Las claves(鍵)”です。原作に私たちのアイデアを取り込み、ガジネロ版の作品に仕上げました。この作品を通して、協力することの大切さを皆さんにお届けしたいと思います。人は時として他人に対し敵対心を抱いてしまうこともあります。しかし一度その人と手を取り合ってみると、新たな価値観やものの見方を得られたり、自分自身を成長させたりする鍵となることもあります。愛や優しさというのも協力から生まれるのではないのでしょうか。このことは3月の大震災を経験した私たちが身を持って体験したことです。この作品をご覧になった後に、少しでもこころに温かさを感じていただけたら幸いです。

最後に、本日の公演にあたり協力して下さった教員、職員そして友人の皆さんにガジネロ一同感謝申し上げます。

演出代表 渡邊綾香

Queridos espectadores.

Muchas gracias por venir a nuestra función.

La obra que presentamos hoy se titula “Las Claves”. Hicimos algunos cambios a la versión original escrita por Leslie Garrett para ajustarla a nuestra realidad. A través de esta obra queremos demostrar la importancia de la cooperación mutua. A veces tenemos sentimientos de rivalidad contra la gente que nos rodea. Sin embargo, cuando nos toca cooperar por algo, ahí es cuando nos damos cuenta de cuan valiosa es la cooperación. El punto de vista de los demás y su modo de pensar nos ayudan a madurar. Así mismo el amor y la generosidad emanan de la cooperación. Nosotros lo aprendimos de aquella tragedia acontecida en marzo de este año en la área de Tohoku. Estaremos contentos si podemos reconfortar su corazón con esta obra.

Por último quisiéramos agradecer a todos los profesores, al personal de la universidad y a los amigos que nos han dado su apoyo. Una vez más, ¡viva la cooperación!

Directora de la obra Ayaka Watanabe

ラケル Raquel  
棚村瑞貴 (2年)

Mizuki Tanamura

プロモトド社の経営者。

38歳。離婚後一人で息子を育てるが、仕事最優先の人生を送っている。

Gerente empresarial de la empresa Promotodo. Tiene 38 años. Divorciada. Dedicada más a su trabajo que a su único hijo Felipe.



ラケルの元夫 Ex-marido de Raquel

フィデリア Fidelia

井戸麻衣子 (1年)

Maiko Ido

6人兄弟の母親、金持ち

の子供が通うエリトン小学校勤務。夫は出張ばかりな分、本当はずっと家に子供といたい。

Madre de 6 hijos. Trabaja en el Colegio Eliton, una escuela para niños ricos. Su marido suele ir de viaje de negocios y casi no está en casa. Fidelia desea dedicar más tiempo a sus hijos.



フィデリアの夫 Marido de Fidelia

男子 Niño

パトリシア Patricia

山口梨佐 (2年)

Risa Yamaguchi

環境保護団体プラネタ・ベルデ所属。

25歳。今はプライベートよりも地球が大事。

Ecologista activa de la Asociación Planeta Verde. Tiene 25 años. Prefiere trabajar para salvar al mundo a tener su propia familia.



小林敬史 (1年)

Kobayashi Takafumi

### 途中駅 Tránsito

天国でも地上でもなくここ No estamos en el cielo ni en la tierra.  
は人々の魂の行先を決める Es una "estación" en medio. Aquí  
場所。すべてが完璧で、み todo es perfecto y los "pasajeros" se  
な心地く過ごせるところで sienten cómodos. El Asesor les hacen  
ある。 preguntas para decidir sus destinos.

助手 Ayudante 阿保亮祐 (5年) Ryosuke Abo



面接官のもとで様々な仕事をする。特に到着しばかりの人を落ち着かせるのは大変。

Trabaja para el Asesor. Su mayor cargo es calmar a los recién llegados.

面接官 Asesor

道下環久 (4年)

Waku Michishita

魂の行先を決める手助けをする。き

っと何年も生きていて知識も豊富なんだろう。

Un sabio milenario. Asesora a la gente para que prosigan sus caminos.







Roberto y Graciela / ロベルト・イ・グラシエラ  
 …世界を情熱の渦に巻き込んでいる若手ギターデュオ  
*Un duo de guitarra, joven y muy popular en el mundo.*

Roberto (写真左: 4年 猪野木健一)  
 …繊細で美しいメロディーを奏でる。  
 少々気が弱い。

Toca una melodía muy fina y dulce  
 con su guitarra.  
 Es un poco tímido.

Graciela (写真右: 2年中島未姫)  
 …情熱的な伴奏をする。  
 少々気が強い。

Acompaña a Roberto con su guitarra.  
 Su interpretación es  
 apasionada.



インタビュー

Una intervención especial



Noticiero / ニュースキャスター (2年 木村至)

…夜のニュースの看板キャスター。  
 陽気だが、時には皮肉っぽいことも。

Un noticiero muy popular de un programa informativo.  
 Es un joven alegre, pero a veces se pone irónico.



中継

Retransmisión



Reportera / 特派員  
 (4年 山田桂美)

…今回はかなり緊張している。

Una reportera muy  
 competente.  
 Esta vez, está muy  
 nerviosa.



特集

Un reportaje especial

Empleadas / 会社員

(2年 中島未姫[一人二役]、他)

…女性向け化粧品会社 Bellenera  
 (ベジェネラ) の社員。男性に対抗心を  
 持っている。

Las empleadas de la empresa  
 Bellenera. Consideran a los  
 hombres como un rival.

<あらすじ/ Sinopsis de la obra>

3人の女性—ラケル、フィデリア、パトリシア—は同じ交通事故で重体になり、やがて「途中駅」というところにたどり着いた。そこで彼女たちを待っていたのは「面接官」と呼ばれる不思議なオーラを醸し出している人物であった。それぞれが過去を振り返り、自分の人生や、「面接官」の助言について考える。

Tres mujeres -Raquel, Fidelia y Patricia- sufren un mismo accidente de tráfico. Así llegaron a un lugar de "tránsito" entre el cielo y la tierra. Las esperaba el Asesor, un ser con una aura especial. Cada una recapacita su vida en la tierra y lo que les va diciendo el Asesor.

<スタッフ/Equipo técnico>

演出 Dirección	-----	Ayaka Watanabe	渡邊綾香(3年)
照明 Iluminación	-----	Takaaki Sekido	関戸貴彬(3年)
		Yuya Ide	井手裕也(1年)
		Wakana Shinohe	四戸若菜(4年)
音響 Sonido	-----	Ayaka Watanabe	渡邊綾香
スクリーン操作 Encargada de proyección	-----	Kenichi Inoki	猪野木健一(4年)
字幕 Subtítulos	-----	Kenichi Inoki	猪野木健一
大道具 Tramoya	-----	Takafumi Kobayashi	小林敬史(1年)
		El Gallinero	
小道具 Utensilios	-----	Takafumi Kobayashi	小林敬史
		El Gallinero	
衣装 Vestuario	-----	Maiko Ido	井戸麻衣子(1年)
		El Gallinero	
チラシ・パンフレット作成	-----	Ayaka Watanabe	渡邊綾香
		Waku Michishita	道下環久(4年)
		Mizuki Tanamura	棚村瑞貴(2年)
ロケ責任者 Responsable de grabación	-----	Waku Michishita	道下環久
団体責任者 Responsable del grupo	-----	Mizuki Tanamura	棚村瑞貴
顧問 Asesoramiento general	-----	Emiko Yoshikawa	吉川恵美子(本学教授)

<特別協力 Apoyo especial>

スペイン語アドバイス Asesoramiento de español	-----	Nina Hasegawa/ Edelmira Amat	(本学教授)
特別照明スタッフ Iluminación	-----	Takashi Kawaguchi	川口旅史(演劇協議会)
エキストラ出演 Extra	-----	Asako Kai	貝明咲子(4年)
		Ayumi Inoue	井上歩美(1年)



# 上智大学ロシア語劇サークル ТЕАТРАЛ

本日はご来場いただき  
誠にありがとうございます

上智大学ロシア語劇ТЕАТРАЛは  
2006年12月 上智大学ロシア語学科の  
学生を中心として結成されました

今年度は「愛」がテーマの作品  
ロシアの有名な文豪ゴーゴリの『鼻』が基である作品  
2作品を上演いたします

今年で5年目を迎えたロシア語劇が  
さらに進化を目指す姿を  
是非ご覧いただければと思います

サイト <http://teatral.web.fc2.com/>  
携帯サイト <http://teatral.m.web.fc.com/>  
お問い合わせ [teaetrali.v.sophii@gmail.com](mailto:teaetrali.v.sophii@gmail.com)



# Любовь『愛』

Людмила Петрушевская

リュドミラ・ペトルシェフスカヤ

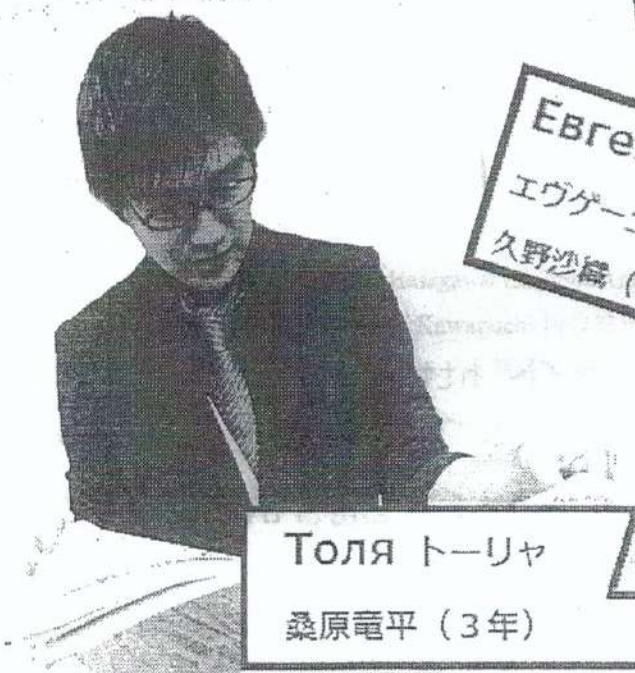
モスクワ移住のため  
戦略結婚を目論むトーリャと  
それでも仕方なく  
結婚を決めたスベータ

繰り返されるトーリャの  
絶え間ない言い訳と  
スベータの必至な問い詰め

そこに彼女の母親  
エヴゲーニャが帰ってきてしまう



Света Свее́та  
草柳里帆 (2年)



Толя То́риャ  
桑原電平 (3年)



Евгения Ива́новна  
エヴゲーニャ・イワーナヴナ  
久野沙織 (2年)



# Нос『鼻』

Нина Садур

ニーナ・サドール

非常に醜く周りに恐れられていた  
鼻を整形したイルマ

それを見てもらい仲良くしたいと  
友人4人を自宅へ招待する

平和に みんな仲良く  
私もいいことがしたい

そんな純粋な彼女の気持ちとは裏腹に  
イルマの持つ非人間的な存在感に  
皆が翻弄されていく

Юлия Вароужа  
田健太郎 (3年)

Толик トーリク  
浅賀由介 (4年)

Аташа ナターシャ  
すみれ (2年)

Марина マリーナ  
片倉未奈美

Ирма イルマ  
村田愛美 (3年)



顧問 村田真一(上智大学教授)

座長 浅賀由介

発音・演技指導

Елена Владимировна 吉住(上智大学教授)

Светлана Игоревна Латышева(上智大学准教授)

Любовь

Нос

演出

塚原 奏

浅賀由介

翻訳

塚原 奏

中太佐綾

林由貴

字幕

神田健太郎

中太佐綾

衣装

村田愛美

照明

上坂すみれ

草柳里帆

片倉未奈美

久野沙織

音響

塚原 奏

小大道具

上坂すみれ

久野沙織

プログラム

村田愛美